



令和4年度事業計画

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人全体	2
多機能事業所ループ	9
生活介護事業所ループ歩	11
多機能事業所ループ奏	13
放課後等デイサービス事業所あざみ	15
日中一時支援事業所あるば	16
はまきた地域活動支援センター	16
相談支援事業所ほるた	18

社会福祉法人みどりの樹 令和4年度 事業計画

はじめに

法人設立20年を迎え、また新たな20年その先に向かって歩を進め始める区切りの年でもあります。令和3年度内にコロナ禍なりに20周年を盛り上げる企画をうち、特にこれまでの20年を丁寧に振り返ることを大切に取り扱いました。今では設立当時を知る職員は数えるほどもない状況ですが、だからこそ先人たちの苦労や希望を知り、基本理念の理解を深め、目まぐるしい時代の変化の中でも変わらずに「想い」を継承していくことが大切だと考えます。

温故知新。まさにそれを体現する1年としていきたいと思います。

(理事長 山下勝康)

基本理念 誰もが生き生きと暮す街に

障がいがあってもなくても誰もが生き生きと暮せる街づくりの一端を担う

行動指針 スマイル & ネバーギブアップ

- ・利用者の笑顔・お客様の笑顔が、私たちの元気の源です
- ・利用者主体の視点を大切にします
- ・質の高い商品をお客様に提供します
- ・何事にもあきらめずに取り組むことを約束します

基本方針 自分の「強み」を見出し、発揮しよう (令和4年度職員スローガン)

前年度の内部研修では、常勤職員全員「ストレングスファインダー」を用い、それぞれの資質の傾向を明らかにしました。今年度は見出された資質をいかに「自身の強み」として支援の場面や組織の一員として発揮していかけるかを考えていきます。

個人としての成長とともに、事業所単位でのチーム力の向上も目指していきます。

重点取り組み① 中期計画立案と組織再編

令和5年度～7年度までの中期計画を立案します。目まぐるしく変化する情勢もきちんと踏まえながら、今後法人が目指すべき将来計画を明確にします。そのうえで、単年ごとの到達目標を設定し、計画的に事業運営していくことを目指します。

また将来の見通しをもって組織図を一新し、ガバナンスの再構築を図ります。職位と職務を再編し、決裁フローの見直しをします。役割と責任・権限を明瞭に見える化することで、支援担当者がより一層対人支援業務に注力でき、またそれぞれのキャリアビジョンを明確に持てる体制を目指します。併せて、内規や社内ルール、マニュアルを整備することで、業務の均質化も図っていきます。

重点取り組み② BCP（事業継続計画）の策定

まずは、目下のコロナ禍を鑑み、感染症対策を主眼として立案しているものを完成させます。以降、順次自然災害など想定される様々な有事に対応したものを作成していきます。

重点取り組み③ 苦情受付、解決システムの再考

昨年度までに再構築した「ヒヤリハット報告」「事故報告」とも関連性を保ちながら、苦情に関する仕組みを再構築し、より良い事業運営につなげていくことを目指します。

重点取り組み④ 人材育成システムの構築

昨年度に実現できなかった組織再編と連動させて、キャリアパスの要件を見直します。併せて人事考課制度や職務分掌の明確化など、職員一人一人が目指すものと努力のしどころが明確になることを目指します。

事業種類・定員

事業所名	種別	事業内容（事業名称）	定員	計
多機能事業所ループ	指定サービス	就労移行支援事業（ライム）	6	26
		就労継続支援 B 型（ライム・なないろカフェ）	20	
		自立訓練（生活訓練）事業（みかん）	休止中	
生活介護事業所ループ歩	指定サービス	生活介護事業（さつき）	18	30
		生活介護事業（まつぼっくり）	12	
多機能事業所ループ奏	指定サービス	生活介護事業（るるる）	10	20
		就労継続支援 B 型（ららら）	10	
本部拠点	指定サービス	放課後等デイサービス事業（あざみ）	10	
		特定相談支援事業（ぼるた）	—	
	浜松市地域生活支援事業（公益事業）	日中一時支援事業（あるば）	7	
		地域活動支援センター I 型（はまきた地域活動支援センター）	(20)	
	派遣	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	—	

※令和 4 年 1 月 1 日より、自立訓練（生活訓練）事業は休止中

職員

	計	男	女	平均年齢
常勤職員	26 人	6 人	20 人	33.7 歳
非常勤職員	33 人	3 人	30 人	58.6 歳
計	59 人	9 人	50 人	46.5 歳

職員配置（令和４年４月１日時点）

		ループ	ループ 歩	ループ 奏	あざみ	あるば	特定 相談	はまきた 地活	相談 派遣	合計
管理者		1	1	1	1					4
常勤	専従	4	5	3	3	0	1	2	1	19
	兼務	0	1	0	1	0	1	0	0	3
非常勤	専従	7	10	4	4	3	1	1	0	30
	兼務	0	2	1	0	0	0	0	0	3
常勤換算		12.3	9.7	6.9	5.2	0.7	2.0	2.5	1.0	40.3

利用者数（計画値）

事業名	定員	R3 年度平均 利用者数（人/日）	R4 年度計画 利用者数（人/日）	R3→R4 対比	R4 年度 稼働率見込
就労移行支援	6	0.5	3.0	+2.5	50.0%
就労継続 B 型 （ライム・なないろカフェ）	20	20.1	22.0	+1.9	110.0%
生活介護（さつき）	18	16.9	18.5	+1.6	102.8%
生活介護（まつぼっくり）	12	10.1	12.0	+2.1	100.0%
生活介護（るるる）	10	9.6	11.5	+1.9	115.0%
就労継続 B 型（ららら）	10	8.3	9.0	+0.7	90.0%
放課後等デイサービス	10	9.9	10.0	+0.1	100.0%
日中一時支援	7	4.2	4.8	+0.6	68.5%
地域活動支援センター	(20)	7.6	8.0	+0.4	—
特定相談	—	47.5	50.0	+2.5	—

※特定相談の数値は、月の平均件数

※R3 年度は R4 年 1 月末までの実績値

資金収支予算規模

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	254,607 千円 (260,537 千円)	230,154 千円 (240,055 千円)	24,453 千円 (20,482 千円)
施設整備等による収支	0 千円 (0 千円)	14,818 千円 (19,098 千円)	△14,818 千円 (△19,098 千円)

その他の活動による収支	0 千円 (0 千円)	427 千円 (414 千円)	△427 千円 (△414 千円)
当期資金収支差額	—	—	8,707 千円 (670 千円)

() 内は、令和 3 年度当初予算

施設整備、大規模修繕、固定資産整備計画

事業所名	種別	金額 (円)	詳細	財源
ループ	物品購入	400,000	事務所、調理場エアコン 計 2 台	自己資金 (助成金も検討)
本部拠点	整備	500,000	本部建屋内 WI-FI 環境強化	自己資金
ループ歩	物品購入	400,000	さつきクッキー用オープン買替	自己資金
ループ奏	なし			

借入金償還計画

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	使途
福祉医療機構	6,072,000	680,185	0	71,310,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	472,218	470,000	21,928,000	
静岡銀行	3,480,000	340,000	0	57,010,000	ループ奏新築工事

会議等

会議名	構成員	頻度／時期
理事会	理事、監事	5 月、11 月、3 月
評議員会	評議員、監事、理事長、業務執行理事	6 月、3 月
評議員選任・解任委員会	理事長、業務執行理事、委員	適宜
管理者会議	理事長、管理者	毎月 第 1 月曜
運営会議	理事長、管理者、主任	毎月 第 4 水曜
法人全体会議	理事長、常勤職員	6 月、11 月、3 月
職員会議	部門ごと、所属職員	部門ごとに設定
監事監査	監事、理事長、業務執行理事他	5 月、11 月
苦情解決委員会	業務執行理事、監事、コンプラ委員	年 1 ～ 2 回、適宜
虐待防止委員会	虐待防止責任者、管理者、サビ児管、コンプラ委員	年 1 回、適宜

委員会活動

委員会名	内容
防災委員会	・各所防災訓練の徹底、実施の主導 ・防災備品、マニュアルの管理・整備等 ・これまでのマニュアルの見直し
研修委員会	・eラーニング研修の啓発、進捗管理 ・法人全体内部研修会の企画・運営
広報委員会	・みどりの樹つうしん（機関誌）の定期作成・発行 ・法人ホームページの定期更新等管理 ・各事業所パンフレット作成
コンプライアンス委員会	・苦情解決フローの見直し、苦情解決委員会の実施 ・虐待防止 ・ストレスチェックの実施

職員研修計画

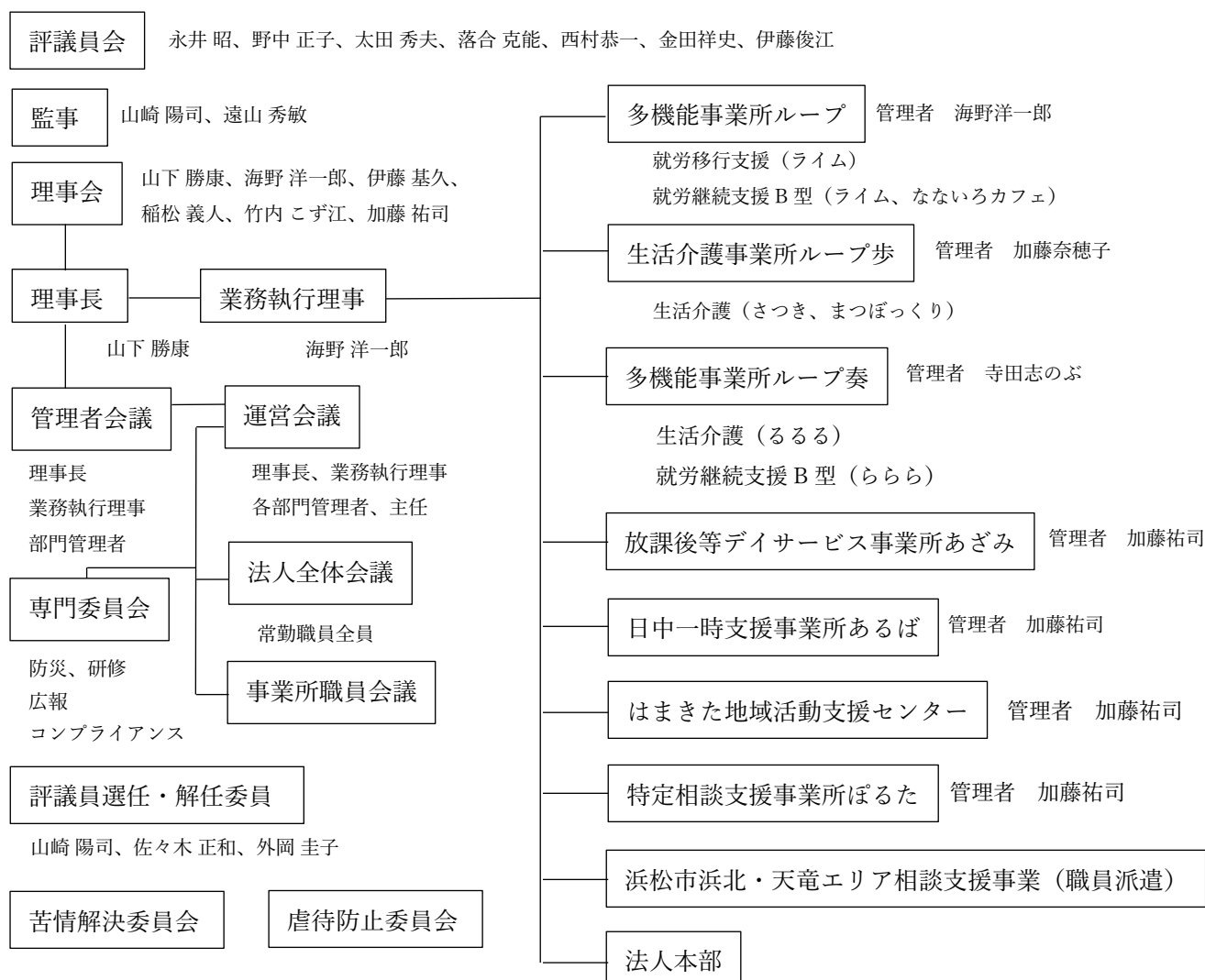
ケース検討会	年4回	みんなで検討しあう経験を通して、考え抜く力議論する力をつける。 また広い視野を得て新鮮な気持ちで明日の支援に向かえるようにする
研修報告会	年3回	外部研修（ZOOM 含む）参加者が研修内容の報告発表することによって、個々の学びを深め、知識・情報を法人全体で共有する。動画撮影によるeラーニング方式も適宜活用する
虐待防止研修	年2回～	管理職、支援実務者それぞれで適宜、虐待防止に関する外部研修に参加し、研修報告会の機能を活用し全体にフィードバックする
法人全体内部研修	年1回	研修委員会にて企画立案し、職員全体のスキルアップにつながり組織力を向上させることを目的に行う。
外部研修・その他	適宜	県社協のスマイルブックの活用や、その他の外部研修の情報について、できる限り積極的に参画する。
eラーニング	適宜	職員それぞれの興味に基づいた自主的なスキルアップをeラーニングを活用して促進していく。

地域における公益的な取り組みの推進

①「みどりの樹 照個屋(てらこや)」の継続

コロナの影響を鑑みながら、可能であれば一昨年まで同様、地域の方々の特技や力を発揮していただく場の提供を目的に、法人本部建物を全開放し複数のワークショップの開催と餅つき、豆まきを実施する「照個屋」を2年実施してきました。地域の皆さんとの新たな出会いも多く、みどりの樹にとっては、地域とのつながりを広げる大変有意義な取り組みとなりました。今年度も同様に、みどりの樹も地域の一員として、皆さんとつながりを深めながら元気になる企画として、実行していきます。

法人組織図



行事計画（予定）※コロナ禍の収束が見られた際には、下記以外にも積極的に外出企画をします

月	対外活動、レクリエーション企画	防災訓練
4	・昨年度頑張りました会（さつき） ・お花見（まつぼっくり） ・保護者会（まつぼっくり） ・はじめての会（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
5	・保護者会（さつき、ループ奏） ・子どもの日の会（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
6		・防災訓練（地震想定） ・あざみ避難訓練
7	・七夕会（各事業所）	・あざみ避難訓練
8	・暑気払い、大掃除（ループ、ループ奏） ・お疲れ様会（ループ歩、ループ奏） ・さつき de 夏まつり（さつき） ・夏まつり（ループ奏） ・外食体験（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
9	・わ西部ふれあいレクリエーション大会（ループ、ループ歩、ループ奏） ・お月見会（さつき、あるば・あざみ） ・	・あざみ避難訓練
10	・保護者会（ループ） ・さつき de 運動会（さつき） ・ハロウィン（ループ、あるば・あざみ）	・防災訓練（水害想定） ・あざみ避難訓練 ・地区防災訓練（ループ奏）
11	・浜北ふれあい広場(法人全体) ・元気ライブ（ループ、ループ歩、ループ奏）	・あざみ避難訓練
12	・クリスマス会（法人合同） ・大掃除（各事業所） ・クリスマス会（あるば・あざみ） ・お疲れ様会（まつぼっくり）	・地域防災参加 ・あざみ避難訓練
1	・初詣（各事業所）	・あざみ避難訓練
2	・豆まき（各事業所）	・防災訓練（火事想定） ・あざみ避難訓練
3	・ひなまつり会（あるば・あざみ） ・卒業生を送る会（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練 ・緊急連絡訓練（職員）

多機能事業所ループ

基本方針

就労移行支援（ライム）

2年間の有期限の中で、一般企業への就職を目指す方の職業訓練・就職活動支援・定着支援・就労後のフォローアップなどを行います。ハローワークなどをはじめ、関係機関との連携を生かし、マッチングを最重要ポイントとして取り組んでいきます。

就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者の所得保障という視点でできるだけ多くの工賃をお支払いできるような営業展開をしていきます。

具体的活動内容

就労移行支援（ライム）

ライム内での作業訓練を基軸に、生活リズムの安定を図りながら、あいさつ・返事・報告などから職業スキルの習得に取り組みます。特化プログラム SSP では、「自分を知ること」をキーワードにしたグループワークを通して、興味・関心を広げるとともに、具体的な職業生活スキルの向上を図っていきます。就職活動に関しては、ハローワークの登録から面接まで可能な限り同行し、サポートをしていきます。また、就労後のフォローアップでは、他事業との連携や制度の活用を通して、現場訪問や生活支援などを丁寧に行っていきます。

就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

（就労訓練活動）

- ・弁当の製造・販売…業務内容については例年通りに行います。時間を意識し、盛り付けや仕上がりなどを丁寧に行います。安心安全でおいしい弁当をお届けし、安定した注文が確保できるように努めます。
- ・下請作業…業務内容については例年通りに行います。納期や精度、生産数や環境整備を意識して、取引先から信頼される活動を心掛けます。
- ・喫茶業務…なないろカフェの運営業務を例年通り行います。地域の方に親しみを持っていただけるような営業活動ができるように心がけます。

（レクリエーション活動その他）

主に土日を使って、様々な課外活動やレクリエーションを行います。また、七夕や節分など季節を感じられるような行事を活動時間内に取り入れることで、リラックスする時間とはたらく時間のメリハリをつけたり、楽しみがあるというモチベーションにつなげたりしていきます。他に、地域の皆様にもライムをより知っていただけるよう、地域のイベントなどにも積極的に参加していきます。また、なないろカフェ単体で、少人数だからこそできるレクリエーション活動の時間も大切にしていきます。

重点目標

1) 利用者支援について

就労移行支援（ライム）

- ・日々のかかわりやアセスメント、定期面談や特化プログラム SSP を通して、その人を知り、その人がどうなりたいか、どんなはたらき方をしたいのかを一緒に考えます。

- ・企業または他事業所の見学や体験、実習を通して、自分らしいはたらき方やはたらく場所を探し、見つけ出します。
- ・就職後も、自分らしく、自信をもってはたらき続けられるよう、アフターフォローを丁寧に行います。

就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

（ライム）

- ・みんなが気持ちよくはたらくことができるよう、元気にあいさつをすることを大切にします。
- ・一人ひとりに合ったはたらき方やその人らしさを見つけ、利用者の“なりたい”“やりたい”“がんばりたい”を引き出し、伸ばします。
- ・利用者がはたらく喜びややりがいを実感できるように支援します。
- ・“私の仕事”“私の役割”と利用者が主体的、かつ意欲的に任されたことに責任をもって取り組むことができるように工夫します。

（なないろカフェ）

- ・ あいさつを、より身近に

普段のあいさつもあれば、お客様への挨拶をする機会は沢山あるので元気に笑顔で伝えることを大切にします。

- ・ チャレンジ精神

できること・得意なことはステップアップ、本人の頑張ってみたいことは一歩ずつ踏み出せるように少人数の強みを生かして力が発揮できるように支援していきます。

- ・ 想いやアイデアを『かたち』に

何気ない一言が作業のやり方やお店作りに良い影響を与えることがありました。

利用者の想いを「聴く」、そして「実現する」ことを意識して、個々の気持ちを出せる場としてミーティング時間を作っていきます。

2) 地域とのつながりについて

就労移行支援（ライム）

- ・他事業所や他機関、企業等との情報共有や関係づくりに努めます。
- ・これまでのつながりとこれからのつながりを大切にします。

就労継続支援B型（ライム、なないろカフェ）

（ライム）

- ・顔を合わせたら、元気にあいさつをします。
- ・今あるつながりを継続・強化して大切にします。
- ・“地域とのつながり”を意識して過ごし、できることや必要なことを考え、探していきます。

（なないろカフェ）

- ・SNSを活用するなど、アンテナショップとして地域に向けて情報発信をしていきます。
- ・午後の時間帯を地域活動支援センターの活動の場として開放し、ほっと心休まる場所、人との交流の場を提供します。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年
弁当	ぬくもりごはん、まかない丼、仕出し弁当の製造・販売	18,500,000 円
カフェ	なないろカフェの運営、喫茶業務、雑貨・菓子類販売	5,000,000 円
請負業務	自動車、オートバイ部品等の組立、梱包、バリ取り	4,000,000 円

利用者工賃

	工賃見込（月額平均）	工賃見込（時給換算）
就労移行（ライム）	20,000 円	270 円
就労継続支援B型（ライム）	22,500 円	300 円
就労継続支援B型（なないろカフェ）	32,000 円	350 円

目標就職者数と目標職場定着率

目標就職者数…2 名 目標職場定着率…100%

生活介護事業所ループ歩

基本方針

さつき

- ・本人が安心できる場所として、穏やかな気持ちで過ごせる環境づくりを行います
- ・本人の意思を尊重した活動を行い、生き生きと豊かな生活が送られるよう支援します
- ・地域の方々と触れ合う機会を設けることで、さつきの認知度の向上に努めます

まつぼっくり

- ・利用者がはたらく喜びを感じられることを大切に、作業を通して自分に自信を持てるよう支援していきます。
- ・一人一人の個性を尊重し、お互いを認め合える雰囲気作りを目指します。
- ・地域のみなさんに支えられて活動できていることを忘れず、まつぼっくりができることを常に考えていきます。

具体的活動内容

さつき

（作業活動）

- ・おからクッキーの製造と販売、請負作業として部品の組み立て等を行います
- ・作業工程において構造化を行うことで、利用者が作業に携わる時間を確保します
- ・複数の請負作業を行うことで、利用者の選択肢を広げて多様な働き方を提供します

（生活支援）

- ・連絡ノートを活用して保護者と連絡を取り合い、利用者の様子に配慮しながら支援します
- ・定期的な健康チェックを行い、健康状態に留意しながら支援します
- ・音楽鑑賞や身体を動かす活動を取り入れ、利用者が楽しめる時間を提供します

まつぼっくり

（作業活動）

- ・パン・焼き菓子の品質向上と新商品開発のために、専門家の知恵を借りたり職員自身がパン作りの基本的な知識を勉強します。
- ・利用者が関わる過程を大切にし、一人一人に合った作業内容を見つけ本人の自信につなげていきます。

（生活支援）

- ・利用者の発信を常に受けとめ利用者同士や職員とのコミュニケーションの時間を大切にしています。
- ・毎月実施している体重・血圧測定を継続し、数値の変動を家族に報告しながら体調の変化に留意し、散歩も取り入れていきます。
- ・季節の行事を取り入れ、利用者が楽しめる活動を行います。

重点目標

1) 利用者支援について

さつき

- ・適切な支援を提供するため、行動特性の再確認や職員間で統一した支援をします
- ・利用者の可能性に着目し、本人の意思も確認しながら新しいことに挑戦します
- ・レクに使用する物品などに工夫を行うことで、利用者に充実した時間を提供します

まつぼっくり

- ・利用者の発信を受けとめられる姿勢を持ち、コミュニケーション技術の向上に努めコミュニケーション保障と情報保障に努めます。その為に絵カードなど視覚的な支援も取り入れます。
- ・一人一人の想いを受けとめ安心して生活できる場所づくりに努めます。

2) 地域とのつながりについて

さつき

- ・地域の防災訓練に参加します
- ・レクリエーションの時間を活用して清掃活動を行います
- ・地域企業につうしんの配布を行います

まつぼっくり

- ・廃品回収を年に4回行ない、利用者も当番制で対応し地域の方との交流を深めます。
- ・季節ごとにパンのチラシを作成し、善地町内会の皆さんにまつぼっくりの存在をアピールします。
- ・まつぼっくり周辺のお宅へ利用者と一緒に通信を届けます。
- ・パンの配達、廃品回収の引き取りを高齢者のお宅中心にやっていくことをお知らせします。

3) 定員と支援体制を加味した事業所再編の検討

これまで、さつき・まつぼっくり一体的に運営管理を行ってきましたが、①新規利用希望ニーズが絶えず見込まれること、②施設の利用者特性や利用ニーズがこれまで以上に明確に区別化されつつあること、③それぞれにサービス管理責任者を設置することが望ましいこと、からさつき、まつぼっくりを別事業所としてそれぞれ独立させ、若干数の定員増も視野に入れて検討したいと思います。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年 (円)
さつき		2,850,000
おからクッキー	おから入りクッキーの製造、販売	1,300,000
請負業務	自動車、オートバイ等の部品組み立て、バリ取り作業	1,550,000
まつぼっくり		5,608,000
パン	パン、紅茶・胚芽・玄米クッキーの製造販売	5,600,000
その他	イス脚カバーの製作、販売	8,000

利用者工賃

	工賃見込（月額平均）	工賃見込（時給換算）
さつき	4,500 円	100 円
まつぼっくり	15,000 円	300 円

多機能事業所ループ奏

基本方針

生活介護（るるる）

利用者自身が日々の生活を楽しく穏やかに過ごせるように支援していきます。それぞれのるるるに通う意味を見出し、一人ひとりが充実した時間を過ごせるように活動していきます。

就労継続支援B型（ららら）

一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者のペースやニーズに合わせて、できることから取り組んでいき、はたらく楽しさや役割を担う達成感を提供していきます。

具体的活動内容

生活介護（るるる）

（生活支援）

- ・日々の活動にレクリエーションを積極的に組み込みます。散歩やストレッチなどの運動、音楽、読み聞かせ、リラクゼーションなどを定期的に提供し、生活にリズムを作ります。
- ・季節ごとに創作活動を行い、事業所内に展示して事業所の雰囲気を作ります。
- ・排せつや食事のケアを通じ、清潔に気持ちよく過ごせるようにしていきます。

（作業活動）

- ・部品組み立て等の請負作業を中心に行います。
- ・個々に合わせた作業を提供し、安心して落ち着いて取り組めるよう環境を整えます。

- ・毎日の生活の中で役割を持ち、作業だけではない「はたらく」を大切にします。

就労継続支援B型（ららら）

（就労訓練活動）

- ・公立高校の購買部の運営と、部品組み立て等の請負作業を行います。
- ・個々のペースを尊重し、継続して取り組むことを大切にしていきます。
- ・自分の得意なこと、苦手なことを知ること、チャレンジする気持ちを大切にします。
- ・気持ちのよいあいさつと返事ができるようにしていきます。

（生活支援）

- ・掃除・洗濯など日々の活動で行っていることや、調理などレクリエーションの時間で取り組めることを通して、生活力の向上を目指します。
- ・心身の不調について、困りごとについてなど、安心して話せる環境を整えます。

重点目標

1) 利用者支援について

生活介護（るるる）

- ・個々の過ごし方を尊重し、それぞれに充実した生活ができるように支援していきます。
- ・それぞれの特性を理解し、職員間で統一した支援ができるよう、職員会議の時間を充実していきます。
- ・お互いの違いを認め合えるような環境づくりに努めます。

就労継続支援B型（ららら）

- ・それぞれの「はたらく」に寄り添うよう努めます。
- ・個別支援計画に沿った支援ができるよう、職員会議の時間を充実していきます。
- ・お互いの違いを認め合えるような環境づくりに努めます。

2) 地域とのつながりについて

生活介護（るるる）

- ・散歩に出掛け、元気な挨拶をします。
- ・地域に出て活動することで、地域みなさんに奏のことを知ってもらえるよう意識して行動します。

就労継続支援B型（ららら）

- ・散歩に出掛け、元気な挨拶をし、奏周辺のごみ拾いに取り組みます。
- ・地域に出て活動することで、地域みなさんに奏のことを知ってもらえるよう意識して行動します。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年
請負作業	自動車、オートバイ部品等の組立、バリ取り,ハンカチたたみ等	1,400,000 円
高校購買部	購買販売	2,400,000 円

利用者工賃

	目標工賃（月額平均）	目標工賃（時給換算）
生活介護（るるる）	1,800 円	100 円
就労継続支援B型（ららら）	10,000 円	150 円

放課後等デイサービス事業所あざみ

基本方針

日々の活動の中で、子どもの発達過程や特性を理解し、一人一人の状況に応じた支援をおこないます。子どもと支援者の信頼関係を築き、安定した環境の中で、友達と楽しく過ごす経験を増やしていきます。

具体的活動内容

1) 自立支援と日常生活の充実

基本的日常生活動作の習得と自立生活を支援する活動を行います。学校、家庭と連絡を取り合いながら、一人ひとりのペースに合わせて支援していきます。集団生活の中で情緒面への配慮や安全性を確保し、安定した生活ができるように支援します。

2) 創作活動

子どもの「やってみたい、作ってみたい」という気持ちを大切に受け止め、表現する楽しさや達成感を味わうことができるように支援していきます。（季節行事の制作物、段ボール工作、塗り絵など）

3) 余暇支援（遊びの支援）

散歩、園庭等で自然と触れ合える機会を設け季節の変化を楽しみます（焼き芋、水遊び、草滑り花摘みなど）日々の活動の中で子どもたちの「やってみたい」の気持ちを大切に、気持ちに沿えるように支援します。

（鬼ごっこ、音楽活動、築山のぼり、庭そり、ダンス、工作、スライム作り、ままごと遊び等）

その日の子どもの状況に合わせて集団活動（動の遊び）、リラックス、安定のための個別活動（静の遊び）のプログラムを組み合わせ、支援者の見守りの元で、楽しく友達と一緒に過ごすことができるように支援します

重点目標

1) 利用者支援について

ひとり一人の発達過程や特性理解に重点を置き、感覚過敏などの子どもに配慮した環境設定をします。

2) 感染症予防について

令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防や他の感染症予防を考慮した運営に努力します。

子どもが安心して支援を受け続けられるように子どもや職員の健康管理に努めます。

3) 地域とのつながりについて

自分たちの事業所が何をしているかを地域住民に知っていただくために、子どもたちと一緒に発信していきます。具体的には、令和3年度に取り組めなかった活動がわかるような看板をみんなで制作し、園庭側のフェンスに掲示します。また、地域を知るための活動を子どもたちと展開します。（散歩や地域の清掃活動、地域美化）

日中一時支援事業所あるば

基本方針

子どもにとって、あるばが学校と家庭との中間地点であることから、ストレスを発散し、楽しく遊ぶ場所、安心してゆっくりと過ごすことができる場所であること、保護者にとって安心して子どもを預けることができる場所であることを目指します。

具体的活動内容

- ・ひとり一人の発達過程や特性を考慮し、安心して過ごしていただけるように支援します。
- ・基本的な日常生活動作が身につけられるように、ゆっくりと支援していきます。
- ・余暇支援として、楽しい時間を過ごしていただくために創作活動や散歩、少人数でのグループ遊び、リラックスするための遊びの支援、ストレス発散のための遊びなど、一人一人の子どもの状況に合わせ支援者のかかわりのもとで行います。
- ・保護者支援として、日頃より子どもの様子をお互いに伝えあい、課題について共有していきます。

R4 年度重点目標

- 1) 利用者支援について
ひとり一人の発達過程や特性理解に重点を置き、感覚過敏などの子どもに配慮した環境設定をします。
- 2) 感染症予防について
令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防や他の感染症予防を考慮した運営に努力します。
子どもが安心して支援を受け続けられるように、子どもや職員の健康管理に努めます。
- 3) 地域とのつながりについて
自分たちの事業所が何をしているかを地域住民に知っていただくために、子どもたちと一緒に発信していきます。具体的には、令和3年度に取り組みなかった活動がわかるような看板をみんなで制作し、園庭側のフェンスに掲示します。また、地域を知るための活動を子どもたちと展開します。（散歩や地域の清掃活動、地域美化）

はまきた地域活動支援センター

基本方針

利用される皆さんが、仲間との出会いを通して自分自身を知り、自分が持っている力を発揮しながら、地域での暮らしを豊かにしていくお手伝いをします

具体的活動内容

開催日程	活動内容	開催場所
月1回	＊地活ミーティング ①③ ＊ちくちくクラブ（手芸・クラフト）①② ＊朗読カフェ ① ＊音楽鑑賞会 ① ＊からだを動かす日 ① ＊テイクアウトお食事会 ①② ＊みどりの樹通信配布 ①② ＊エコウォーキング ① ＊しあわせごはん ①	なないろカフェ
	＊青春倶楽部おでかけ（シニア世代を中心）①	外出
	＊誕生会 ①③	本部
月2回	＊カラオケ ① ＊音楽クラブ ① ＊卓球 ①	本部
	＊ゲーム会 ① ＊パソコン教室 ①② ＊屋下がりのいっぷく（シニア世代を中心とした集い）①③	なないろカフェ
週1回	＊いっぷく ①②	なないろカフェ
不定期	＊奉仕活動 ①	適宜
	＊季節行事 ①	適宜

① 日常生活支援事業

「利用者主体」「気持ちよく過ごせる場所」をモットーに、日々の生活に充実感を得られるように、課題や希望に対して関係機関と連携して支援を行います。休日の過ごし方や余暇の楽しみ方等日々の生活に張り合いを作れるよう、出来る限り多くの方に興味を持ってもらえるような内容を吟味しながら新規のプログラムを定期的に立ち上げていきます。利用者同士の意見交換の機会を持ち、自らのイベントの企画・実行をしていけることも大切にします。

② 地域交流活動

地域の方々との交流、ボランティアとの連携を通じて、障がい者福祉に関する啓発を行います。また当事者発表の場や講演活動にも積極的に取り組んでいきます。

③ ネットワーク作り

当事者活動の支援、または関係機関との連携を深めていくことを意識していきます。

R4年度重点目標

1) 利用者支援について

利用される方が「やりたいこと」「やってみたいこと」を自ら発信できる環境づくりや場の提供をし、みなさんの主体的な活動を積極的に取り入れ実行していきます。5名程度の少人数グループを作り、このメンバ

一であれば「安心して過ごせる」「また来たい」「自分の気持ちが話せる」と思えるような居場所づくりを行います。

2) 地域とのつながりについて

なないろカフェに地活のポスター等を掲示し、多くの方々に地活の存在を知ってもらい、ボランティアをしてくださる方を積極的に募集していきます。ボランティアのみなさんの活動参画をはかり、交流を通して理解・啓発を促進します。また、活動内容にエコウォーキングを取り入れ、本部周辺のごみ拾いを行うなど地域に役立つことを行いながらアピールをはかります。

特定相談支援事業所ぼるた

基本方針

ひとりひとりの想いに寄り添い、その実現に向けていっしょに考え、いっしょに歩いていくことを大切にします。また、浜北・天竜エリア連絡会の組織の一員として、地域を考える役割も担っていきます。

具体的活動内容

障害福祉サービスの利用希望があった時点で利用者や関係機関、行政等から依頼を受けてぼるたとして相談支援を開始します。基本的な相談の流れに基づいて、サービス等利用計画書の作成・モニタリング・事業所との連絡調整等を行います。また、必要に応じて受診同行や各種手続きのサポートも行っていきます。

依頼を受ける際には、浜北区を中心に事業所からの自宅までの距離を一つの基準として判断しています。

重点目標

1) 利用者支援について

5年後、10年後を見据えて今できることをご本人やご家族と一緒に考え、計画の作成を行っていきます。生活や体調、家族の変化のある方は特に再アセスメントを実施し、ご本人のニーズを的確に把握していくこと心がけます。

2) 地域とのつながりについて

障害福祉分野の各機関との関係作りの継続と、現在の状況から今後増えると予測される介護保険分野の各機関との関係作りも課題意識を持って取り組みます。